

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
大西香世	(代表者名:)
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
保健師助産師看護師法・第 37 条にみる助産師の職能範囲—国際比較に基づく医療行為の禁止の規定要因	
3. 助成額	
380,000 円	
4. 実施期間	
2013 年 7 月 ~ 2014 年 8 月	
5. 実施状況	
<p>2013 年 11 月 30 日 コロンビア大学名誉教授・森島久代先生インタビュー(東京・産科麻酔学会において)</p> <p>2014 年 2 月 1 日 査読雑誌『科学誌研究』投稿(タイトル:保健師助産師看護師法第 37 条における医療行為の禁止の起源と発展)</p> <p>2014 年 5 月 18 日 査読雑誌『科学誌研究』査読返却、2014 年 8 月現在、改訂中</p> <p>2014 年 6 月 16 日 開業助産師 Celine Albentosa Euzet 氏 インタビュー (パリ)</p> <p>2014 年 6 月 18 日 Amsterdam Groningen, Midwifery Science 講師 MSc, Klomp, Trudy 氏インタビュー (アムステルダム)</p>	
6. 事業成果と自己評価	
<p>竹村和子フェミニズム基金の助成によって、保健師助産師看護師法第 37 条による日本における助産師の医療行為の禁止の要因という、焦点のあたりにくいテーマに関して、調査・研究を行えましたことを、心よりお礼申し上げます。成果としましては、目標の一つであった査読論文への投稿ができましたこと(現在、改訂中)、また、助成金なくしては可能でなかった、ヨーロッパ各地(パリ・アムステルダム)における助産師の方々へのインタビューを遂行できましたことが挙げられます。とりわけ、後者の非英語圏におけるインタビュー調査(フランスにおいては、医療通訳の奥田七峰子氏のご協力を得ました)は、日本における英語文献検索では明らかにならない内容を直に聞くことができ、日本への示唆を含めた意義のある内容を得ることができましたので、今後、その内容につきましても、改めて発表させていただきたく思います。</p>	